滿洲日報

油豆行情(中曆十二月十七日)
青豆價錢六吊川百七十文至六吊二百文
合豆價錢五吊六百文至五吊四百五十文
小米價錢七吊六百文至七吊二百七十文
紅糧價錢五吊五百文至四百五十文

仝 仝 九錢入 同五圓
仝 仝 仝 同四圓
赤味噌 大樽 同九圓三十錢
札幌麥酒 四打入 同八圓八十錢
蜂印香竄葡萄酒 仝 同二十二圓五十錢

仝 … 同二十三圓
筍 … 煉 二打半 同八圓五十錢
梨 四打 同十一圓
桃 仝 同九圓五十錢
人形ミルク 仝 同十二圓五十錢

一仝 切込 仝 十四圓五十錢
澤鶴 仝 十七圓
サッポロビール 正味四斗四升入 九圓七十錢
(合名會社調査)

○報價目
一每月取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所
大連市穩岐町三百三十八號
日華運輸公司
遼陽
遼陽倶樂部
谷口今朝太郎

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Engineer.

Plans and specifications made to order.

Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

醬油釀造販賣
●樽詰 ●瓶詰 ●枡賣
御小賣共精々廉價に販賣仕候御進物として至極体裁宜しき特製四合入瓶詰一打箱入も有之候間多少に拘はらす御用被仰付度奉希上候尙御用の節は下名の内何れにても電話にて御申付被下候は丶直に御屆け可申上候
綏定門街 東肥洋行(電話一七號)
二官街 東來醬園(電話百二號)

三井洋行
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
●精製白砂糖新入荷物あり
倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候(電話百二十八番)

合名會社 銈
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鶴印幷一切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋陡鐘表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
總司理人 田中賴之助謹白

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪一船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田 副理事金德魁
設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

恒有長
本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價値格外從廉克己幷另設銀爐包鎔銘鑄以應急需久爲 中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛
油坊買賣元荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一槪發行裝運沙寗烏船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

德商 瑞生洋行
啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮澤西本行主人啓

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達) 櫻花牌(捷利) 百合花牌(利利) 均已馳名內外 茲特選上等烟料加工精製 雙仙鶴牌(隆沽來福) 淸香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

田中牛莊分莊
啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東洋緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閲是幸
田中牛莊分莊謹啓

森病院
一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す(取扱主任產婆大道しけ子)
院主 森 嬌
醫長 鈴木昌平
營口永世街(電話一五五番)

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街ブシツ商會東
川喜鐵工場

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一(森病院三軒目)

奉天府 大南門裡路西
寫眞 永清

東營口郵便局東隣
島田洋服店
新民屯停車場前
同支店

一關內外盧漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ
一鈔關手續
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

隆慶公司
開設在東圍門外自有碼頭恬豐木局以西南近馬路德記木局以北發售唐山大小塊砟子貨美價廉裝卸舟車極便凡賜顧者請認明招牌庶不致誤謹啓

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

各種材木
廉價大販賣
塩川商會
營口永世街二一本町

和泉洋行
本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡 中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

材木 荒物 販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

日商 東來醬園
本醬園開創在營口双橋子南有年係請大日本著名工師自造日本醬油所造醬物料專選上等麥豆釀經沙漏之水寒熱適度加意製出故其色麗質淨味美氣芳可以供上等烹飪之用其價値甚廉非尋常市油所得而及蓋用市造之油烹物之費多而少梅之効少若用此油則醬味調和必諸不特于衛生之道受益不少兼爲厚生利用之妙品也賜顧紳商請嘗試之立知本醬園所言非誇張之談矣
本園主人謹白

代理 道勝銀行
啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商 瑞記洋行代理人謹啓

貸金業
確實なる擔保品には精々勉强安利を以て御相談に應す
南永世街百二十七號
質屋 富田茂治

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料
一ヶ月以內 錢十五仙乃至十
一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社(電話二九番)

東京電報

●山本前海相の補任

(一月十一日特別通信員發)

前海軍大臣山本權兵衞氏軍事參議官に補せらる

●歸國派學生の復校

清國學生歸國派及び復校派は各々十五名宛の委員を擧け清國公使楊氏座長と爲り復校問題に就き討議の結果歸國派共に復校する事と爲れり

(一月十二日特別通信員發)

●第二軍の東京凱旋

第二軍司令官奥大將其司令部を率ゐて唯今凱旋し大將及び梨本宮殿下は直に參內し優渥なる勅語を賜はりたり歡迎堵の如し

倫敦電報

●佛國議院の再開會

佛國衆議院は再び開會されドーメー氏は議長に當選せり

●清國勞働者問題

清國勞働者問題に關する通信に據ればエルジン卿は初め既に許可を得たる一万四千七百名の清國勞働者の輸入を拒絶せしが爲めに充分手段を盡すへしと命令せしセルバーン卿の强硬なる抗議を受けて既に許可せし分は其儘に爲し置くへしと訓電せりと云ふ

●英國首相の演說

首相バンナーマン氏はリバプールに於て演說して曰く既に許可を得たる清國勞働者の輸入を拒絕することは能はさるは余の悲む所なり然れども去る十一月の初旬に於て急に一万三千名の勞働者に對して許可を與へたるは詮議を要する次第にして政府は此件に關しトランスバールの當局者より通報あるを待てりと

(以上一月十日發電)

●伊太利の大噴火

伊國ベスビウス及びエトナの二山は大噴火を起しラバ流出してベスビウスの山側に布設されたる鋼鐵道を破壞せり

●墺都の地震

墺都ビエンナに於ても小地震ありたり

●高加索の革命叛亂

露國コーカサス地方の革命叛亂は次第に蔓延し暴徒は鐵道を押收して總同盟罷業を命令せり

(以上一月十一日發電)

雜報

●新內閣と民間の意嚮

西園寺內閣成る人は其顔觸れを見て一驚を喫したらんも人心の桂內閣を去れるの甚しき玉石を分つに遑あらず民間即ち政黨及び新聞の意嚮は大體に於て新內閣を歡迎せるが如し新內閣の或者は前內閣の或者に對し面目の足らさるが如き面目の足らすと稱せらるゝ者實は前內閣の中堅にして大小の事務一に此等の徒に因りて調理隨梅せられしを知らば則ち其輕しといふは名のみにして實必ずしも輕きに非さるを知らん況んや前內閣は恰も國運勃興の際に當りて比較的多大の事業を遂行せるやの觀あれとも得失を計較せば失の得を償はさるや明々瞭々新內閣の歡迎は即ち前內閣の不信任といふを意味す惜しむらくは前內閣をしてポーツマウス會議の不結果に去らしめず更に暴威を逞うして輦轂の下血雨を見るに至らしめ以て西園寺內閣をして名を成さしめたるの愚を招けるを智者內閣遂に智ならさりしかとは某政客の談也

●日清協約の交換期

日清協約の東京に於て已に發表せられしとは我東京特電の報道する所なるも其交換期に就きては未た聞く所あらさるが今傳ふる所に依れば右協約は兩全權記名調印の日より效力を有するものなれば批准の交換を待たすして發表せられたるものにて條約文は追て郵便に附し互に取替はさるへき筈なれば其期日は多分今月下旬ならんといふ

●駐露公使は誰ぞ

日露の外交機關復舊と同時に栗野前公使再び起ちて露國に赴任すべしと傳へられしが昨紙東京電報に依れば栗野氏は駐佛大使に任命の趣決定せる由なれば隨て駐露公使の人選方に就き定めて政府に於ても苦心中ならんが某外交消息通の談に依れば現駐佛公使本野氏轉して露都に赴くべく同氏ならば久しく露都に書記官とし又代理公使としても其事務を執りたることあれば最も適任なるべく畢竟お鉢は本野氏に廻はり來らんかとなり但し露國公使館を昇せて大使館と爲すの議は未だ決せられさるも各國との權衡上畢竟は大使館と爲すべく他に適任も無ければ本野氏は多分大使に榮進すべしといふ

●露清交涉未たし

露清交涉は既に開始せられたる如く傳ふるものあれども信ずべからず最も確實なる消息によれば目下清國側より頻りに其交涉開始を迫りつゝあるは事實なるも露公使ポコチロフ氏は本國より訓電に接するを得さる故着手すること能はずして之を拒み居れり露の本國は固より西比利亞動亂の爲め最近一週間餘は北京聖彼得堡間の電信全く不通にして雙方間發信と受信とに由なきは疑ひもなき事實なれば露公使が故意に議を緩うせんとするものと想像するは當らすといふ

●黑龍將軍の電奏

此頃該將軍が電奏せる所に依れば伯都訥城は奉天黑龍江兩省の衝に當り商貨輻輳の地なれば忝かに開きて通該城商口岸となし以て振興に資したし尚ほは奉天新民府を距ること數百里に過さるが故に若し能く鉄道を修繕し直接交通をなさば尤も便利なるべし云々是に就ては已に政務處に交し外商兩部とは協議し具さに奏請する所ありと云へり

●山東省の開放

清國が嘗て公約せる山東省の要市濟南周村濰縣の三埠開放は愈々去る十日にて實行の期限と爲り居りしが是れより先き山東巡撫楊氏は其實行の期限も愈々切迫し來れるを以て其趣を清國政府へ電告して專ら開放準備に怠り無かりしといへば同日を以て公約を完全に實行せると疑ひあるへからず聞く東山開放に關する諸章程は各港岸の現行章程と全く同一なりといふ

●前年の輸出入額

三十八年度に於ける我邦の輸出入總額は八億圓にして內輸出三億二千万圓輸入四億八千万圓即ち輸入の輸出に超過すること一億六千万圓なりとなり蓋し同年に於ける斯る輸入の超過は尙戰時中にて著しく生產力を減少したると其最も重もなる原因なるへきが而も其貿易の大勢よりせは前々年度の六億圓に對し實に二億圓の增加にして其進步や頗る偉なりとすへく更に戰後の經營其宜しきを得は本年は優に十億の上に出づるを得んかと也

●關內外鐵道の事務刷新

關內外鐵道の各驛に於ては常に收賄を以て乘車貨車の賃金を發するの弊風熾んなるを以て客歲胡大臣は自ら出張して是種の調查に從事し刷新の實を計かりたるも近來此種の弊風更に甚たしきに至りたるを同大臣は密々之を調查し不正の驛吏に對しては嚴に懲罰を加へ飽く迄刷新の實を擧くへしとなり而して此の弊風は關外鐵道中にても錦州驛溝邦子驛附近に殊に甚たしきか如しといふ

●新高山の鑛物

過日有用鑛物調查の爲め新高山及其附近を踏查せる福留技師の談を聞くに同技は師新高山より八通關まで踏查し又鹽水港嘉義の山奥を踏查したるも新高山は粘板岩より成立ち居ることゝて一も有用鑛物を見す中部南部の各地に豊富なる石油も亦新高山にあるへき見込なし粘板岩は立派なるも地勢上之を搬出する能はざれは詰り新高山に於て何等採るへき鑛石なきを確かめたり尤も鹽水港嘉義の山奥には石油頗る多きを見たりと云ふ

●戰後の日本 (大隈伯の演說) (承前)

日露戰爭に基く國民の租税負擔は頗る巨額なり、一昨年より昨年に亘り二次の增稅に依つて賦課せられたる額一億三千六百万圓を計上す、即ち所謂非常特別税にして一時的の性質を有せりと雖も戰後財政の膨脹は到底之を永遠に存置せさるへからさる必要あり、戰時國債の發行額は十三億圓の達し、來年度に於ける公債募集額四億圓以上にして尙此外起債の必要ありと云へは、我國債の總額遠からすして二十億の巨額に上るものと認むへく、借令借換政策に依り幾分か低利に振換ふることを得るとするも、今後國民は其元利償還の爲めに毎年少くとも二億以上の負擔に堪へさるへからさるなり、大陸戰爭後の英國の起債額は比較的我國よりも巨額に上れりと雖も、悉皆內國債に依れるを以て之を大部分外國債に依れる我國に比し個人經濟の上に及はす影響日を同ふして論すへからす、租税の激增か個人經濟に影響を及はすは論なく、而も戰後經濟界に變調を生し金利物價正準を失する場合に於ては、國民は之か爲めに少からす生計上の困難を感するに至らむ、今日よりして經濟界の前途を豫測する頗る早計なるに似たるも、近時の經濟界を通觀して轉々憂惧に耐へさるものあり、目下尙軍隊の凱旋戰後の處分全然戰爭期を脫するに至らす、一方には外債募集外貿輸入等資金の流入頻々相踵き、人心と市場と共に頗る活氣を呈しつゝあれとも外國資本の流入も何時かは極度に達すへく人心の昻騰も漸次沈靜に歸するに至らは、其反動として金融財界の亂調を招致し事業の不振賃銀の低落等勢の窮る所或は國民生活の困難非常の極度に達せんも未た遽に測るへからさるなり

戰爭に基く國民の負擔は啻に租税のみに止まらす、毎戶壯丁を戰地に送りて夥しく生產力を減殺されしのみか、或は屍を異域に曝して永く歸鄕の望無く、或は不具癈疾と爲りて假令鄕に歸還するも亦往時の勞役に堪へす、斯の如くにして國民は適切に戰爭の慘烈を覺悟し、各自戰爭に依つて非常の義務を負擔したることを自覺するに至らんなり、義務の有る所ゞ利權之に伴ふ、非常の義務を負擔せることを自覺せる國民の一轉して非常の權利を要求せんとするに至るへきは素と必然の經路にして、此國民の權利感想の發展は正しく我政治界の局面を一變する動機たらすんはあらさるなり

近時我議院政治の弊風最も著して、國民の儀表たる代議士多くは黃白に依つて其主張を抂け、政府の頤使に盲從して其秕政を封助するの觀あり、而も經濟狀態の推移に伴ふ生活の困難は地方政治家の變節を餘儀無からしむると共に、大選擧區制を始めとして選擧法の不備缺點は國民をして其目して適任とする所を選出するに難からしむ、如上の弊風は戰後對外問題の內治問題に移るに至つて愈々甚たしかるへく、所謂官僚政治武斷改策の行はるゝは斯る場合にして極言すれは立憲の危機道理に伏せする所謂ふも不可なし、而して戰爭に依つて直接間接に涵養せられたる權利觀念は此時期に際して俄然勃興し來るへく、選擧法の改正や選擧權の擴張や租税輕減聲や二年兵役論や斯く如くにして一代の世論と爲り現れ來らんなり

要之、今後の日本は經濟上政治上一大革變を惹起すへき機運に際會せり、顧みれは今や曠古の大戰漸く其結果に近つき、滿韓の事遠からず一段落を告くるならんとす、將に是れ國民か外に注きし眼を轉して內に密すへき時なり、此くて戰時の狂熱を離脫し眞面目に其の立脚地を考察し始むへの時、國民たるもの果して何等の感想に打たるへきぞ、念頭一度茲に及へは予は講和成立の當時を想起するを禁する能はす、見よ當時如何に國內動搖の兆を呈したるかを、日比谷公園の騷擾を始めとして各地非講和運動起り、或は公會の宣言となり或は私人の上奏となり、中央警察の威信地に墜ちて戒嚴令は帝都に施かれ、新聞雜誌取締に關する緊急勅令發布せられて言論の自由全く檢束せらる、而して其原因を求むれは單に講和條件に對する國民一時の失望と云ふのみ、若し夫れ戰期全く結末を告け、國民冷靜に戰爭に基因する自家身邊の事情を檢覈し來らは、其不安と其失望とは果して講和成立當時の如くに止まるへきや、社會の事素と多樣多端、昨を以て今を推すへからすと雖も、之を既往に顧みて將來を憶ふ必すしも非なりとせす、予は他日國民の感想か如何に表現すへきやを想像して窃に悚然たり、予を以て濫りて光榮ある戰勝帝國の前途を悲觀するものと爲す勿れ、戰勝の偉大なる丈れ戰後の形勢頗ぶ危惧すへきもの多きを奈何せむ、予は我帝國を通して大陸戰後に於ける英國と同一の趨勢幾微の間に充溢せるを認む、唯々政治と經濟と倶に英國の覆轍を踐まさらんこと政府國民の奮勵如何に俟つへきのみ (完)

●招魂祭の盛況

昨日は露兵逆襲の一週年に相當するを以て牛家屯兵站管內に於て該戰に參加し偉功を奏し戰歿したる諸勇士の英靈を慰むべく招魂の盛式を擧行すべき旨は既に昨紙報道する所なるが今當日の景況を記せんに祭典場は牛家屯停車場より遠からぬ墓地に設けられ豫定の如く午前十一時より空を劈く爆竹を合圖に佛式を以て擧行せられたり、先づ祭壇には戰歿勇士の位牌を並べ周圍には餅、菓子、其他種々の神饌を供へ又其左方に當つて與倉司令官の厚意を以て露兵の戰死者將校以下六十四名の靈を祭られたり先づ第一に本派本願寺の寺本妙心寺派の古川淨土宗常川藏田遠藤の諸布敎使嚴肅なる讀經約三十分間あり終て與倉司令官は敬虔なる態度を以て祭壇前に進み謹嚴なる音吐を以て左の祭文を朗讀せられたり

時維れ明治三十九年一月十二日虔んで忠勇なる諸士の靈に告く回顧すれは昨年の今日敵騎の牛家屯を襲ふや其襲來の快速なると勢力の猛烈なるとは我微弱なる守備をして頗る危險の狀態に投せしめたりき然るに諸士の忠勇にして義膽なる克く寡を以て衆を迎へ奮戰劇鬪遂に優勢なる敵をして潰散行く所を失はしめ一方には營口市街に秩序を維持して他方には前方我軍の作戰の行動を容易にして更に後顧の憂ひなからしめたり其功績豈大ならすや爾來十閱月露國との平和は克復され友邦の交誼は一層親しく結はれ帝國の光輝は更に發揚されたり而も今や幽明相隔てゝ諸氏と此快を倶にするを得さるは實に遺憾とする所なり茲に恭しく神饌を供へて聊か忠魂を慰す希くは來り饗けよ

併て此戰鬪に名譽の戰沒を遂けられたる露國の忠勇なる諸氏の靈に告く當時吾人は諸士を敵にして砲煙々裏に雌雄を決したりしも時移り期臻り今や吾人は諸氏及び諸氏の同胞と手を握るべき親友となれり是れ吾人の無上の快事とする所なると共に諸士の靈亦斯くあるへきを信す回顧すれば諸氏か當年牛家屯を襲ふや其謀略の深遠にして行動の勇膽なる齊しく吾人の賞嘆敬慕する所たりしが今や往時を追懷して感慨に堪へさるものあり茲に敬意を以て神饌を供へ聊か諸士の忠魂を慰す希くは來り饗けよ

與倉司令官の祭文終るや石黑大佐の參拜に續きて露國牛莊駐在領事ニクチン氏は無量の感慨滿面に溢れ嚴肅に參拜をなし次て聯隊將校兵站司令部員瀬川領事黑澤副稅務司蠟山西稅關長日本人會評議員諸氏當時特に我軍の爲め勉めし支那巡捕其他補助輪卒隊の兵士一同の參拜ありて全く式を終り夫れより參拜者一同は軍人倶樂部に於て立食の宴莚を開かれ又一面には兵士諸君の芝居其他種々の餘興等ありて非常の盛況なりき因に去年同日露兵逆襲の際には南風吹き荒み沙塵をさへ飛はして天地晦澹正午に到り始めて北風に變したりしが今茲同日朝來南風あり午後より漸く變して北風と爲れるは事偶然とはいへ亦以て一奇とするに足れりと參拜の與倉長官以下無量の感に打たれて互に談し合へりしは尤もの次第と謂ふへし尙今回の式典は逆襲一週年に相當せしを以て其假式を擧けたる迄にて招魂碑建立の上は追て盛大なる紀念祭典を執行する筈なりといふ

●遼河愈々結氷す

今年は遂に結氷を見ず仕舞かと危疑はしめたる新春來の暖氣も滿洲獨特の寒威奈何ぞ後れを取るへき兩三日來の猛威は亦格別にて前日迄は氷の隙間より尙支那船の來往を見たりしに夜來の寒氣は非常に低下せしと見え河水全く氷合して昨日は點々散在せる支那船すら去つて影をも見せす人馬は更らなり百貨を丘阜の如く積み込める支那流の大八車さへ自由に其上を馳走して交通の便頓みに開けたりしは全く冬の神の惠みとぞ仰ぐへし始めて越年せる邦人の之を聞き付け物珍し氣に渡り初めを試みしも物數寄とや言はん因に昨年の結氷は十二月十八日にて二十五日早く一昨年は一月二日にて十日早かりしとぞ

●山根鐵道總監の來營

京義鐵道を早成して我滿洲軍に多大の利便を與へ又韓國に於ける我利權の基礎を堅確にし爲めに 畏くも陛下より優渥なる勅語を賜はりてその勳績を嘉賞あらせられたる鐵道總監陸軍少將山根武亮氏は一昨夕來營せられたり昨日は技師長石川工學士と共に河北に渡りて視察を遂け當市街各所及豫定居留地を巡視せられ夜は與倉長官の招宴に赴かれたり一行は本日を以て奉天方面に出發し新民屯に引返して奉天より安東縣に出てらるゝ豫定なりと

●與倉司令官の案內

別項記載の如く山根鉄道總監を招待し晚餐の饗應旁々昨日は露兵逆襲一週年の紀念日なるを以て軍政署員一同及び瀬川領事其他官民の重なる人を招待し叮重なる盛宴を張られたりと其詳細は次號の紙上に掲載すべし

●旅順民政支署長

旅順民政支署長心得小島源三郎氏は此程支署長を命せられたり

●貯蓄債券の當籤

豫て當營口正金銀行支店に於て取扱ひたるト號貯蓄債券の內其第一〇二二六號は一等五百圓に當籤せし趣此程同店へ通報ありたる由

●河北行の注意(清人一名死す)

別項記載の如く遼河愈々結氷となるも未だ薄氷の個所少なからず現に昨日午前の頃清人一名氷上を徒歩し居る際過て水中に落ち入り死亡せりと渡行者は充分注意すべき事なり

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至奉山	上一二、一八	下六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發着時刻	
大連	發午前九、〇〇	
遼陽	着午後三、五〇	發四、五五
大石橋	着一〇、三三	發一一、三五
金州	着翌前二、二〇	發三、一〇
大連	着五、三三	

上り列車

旅順	發午後	二、〇三
大連	着	五、三三

營口線下り列車

大石橋	發午前	一、〇〇

天氣

營口地方 自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

●小村外務大臣

江藤新作

新作氏は故江藤新平の遺子、初め甚た顯はれす、晩近頓みに乃父の遺鉢を發揮し來りて、性行の酷似最も多きを見る、南白翼に兒ありと謂つへし。氏今や憲本黨に在り、議論人物二つなから黨中の重きを爲す、斯人にして小村前外相を評隲する、說きて其正鵠を誤らさるや得て知る所に非すと雖も、言や自ら一家の見を爲す、評せらるゝ者亦以て顧みるに足らんか。掲けて江湖の一粲を博する所以也

▲十年前の小村男は、數奇不遇、世間に其名を知るものさへ稀なる程の人なりき、其職は外務の飜譯局長に過きすして官吏中の無用物を以て遇せられ、而て一貧洗ふか如く友人の憐恤によりて債鬼の强襲より免かれ僅かに杜康の力に藉りて胸中の鬱悶を遣り、其境遇の慘憺たる豈他日の外務大臣たるを知らんや、彼は二十七八年の戰に當りて遼東半島の民政長官と爲りたりしが、是實に彼か頭角を現はすの始にして彼の逆運が一轉して順境に向ひたる第一歩なり。

▲聞く彼が民政長官たりし時、或事件の爲め某將官と衝突し、互に堅く執りて下らす、將官は覺に怒りて軍隊を卒ひ、其廳舍を襲ひ將に武力を以て粉碎せんとするか如き猛威を示したりし時に、彼は勃然として其說を變せす、死を以て主張を貫徹せんとするか如き、決心を示したり、此決心に對して、軍隊も稍や躊躇せさるを得す、彼を殺すは其本意に非す、只威嚇して彼を屈服せんと試みたるのみなれは、軍隊は竟に彼か說を容れて引去りたり、此事山縣侯の聽く所となりて、大に其信任を受くるの端となりたりと云ふ、後北京駐劄公使として、北淸事變の際、其手腕を揮ひ累進して外務大臣となり彼の運命の遽變は恰も演劇中の人を見るか如くなりしか運命の神は更に手を弄んて日露戰爭の大活劇の人と爲し、外交の難局に立たしめたり。當時世人の多くは彼を以て幸運兒と爲し、此未曾有の時局も彼によりて終結せらるへく、彼の姓名は千秋不朽ならんと羨望せさる者なかりき、

▲人間萬事塞翁か馬なり、此幸運兒は忽ち不幸運兒となれり、ポーツマスの媾和條約は失敗を告げ、媾和全權大使として國民喝采の間に横濱を發したる彼は國民の怒罵憤激の裏に悄然として歸朝せさる可らさる非運に陷りたり、

▲余は或論客の如く彼を以て倫王秦檜に比するものに非す、ポーツマスに於ける彼の外交談判は確かに失敗なりと雖も、是を以て直ちに國賊の如く云ふは非なり、彼の失敗は彼の惡意より發したるものに非すして彼の人物か此大任に當るに足らさりしか爲なり、彼は勇氣ある人也、決して議論の間にウィッテに屈服したりとも思はれす、唯彼かウィッテに及はさりし點は、第一に器度足らさりしこと、第二　外務省籠城に慣れて外交家たる特性を失ひたること是なり、凡そ此の如き難局に處する者は勇氣智辯の必要なることは勿論なりと雖も、是と共に器度あるへきこと更に必要なり、ポーツマスに於てウイッテの態度を聞くに、毎日媾和の會議後は酒杯の間に新聞記者を相手に快談せるに反し、小村男は一室に閉籠り、深更まて談判の材料を調査せりと云ふ、是既に兩者の間に器度の相違せることを證明せるものなり。

▲兩者の主張の要點は其本國を發する時に、既に確定せる筈にて、談判に臨て更に調査考究すへき必要起る筈なし、談判に際し偶然起るへき意外の問題は皆枝葉の條件なるへく是等の事は僚屬をして調査せしめて可なり、大使自ら汲々乎として頭を痛むるを要せす、此に至りては小村の器度は到底ウィッテに及はさる遠し、一は談判に臨て綽々餘裕あり一は帷書堆裏に寸暇を有せす、一は自ら大臣の態度にして一は自ら俗吏的なり、器度なるものは智辯、勇氣以外に具はるへき崇高なる資質にして、此資質なき者は大事に當るに足らす、故に曰く小村の失敗は第一に器度足らさりしか爲なりと、第二に小村の失敗せる原因は彼か永く籠城主義に慣れて外交家たる特質を失へるに在り、抑もポーツマスに於ける談判の勝敗の決する所は能く列國輿論の同情を得ると得さるとに在り、談判一たひ破裂せんか、列國の同情を得たる者は列國を味方として戰ふへきものなれは、列國は假令國際法規に從ひ局外中立を守るへしと雖も間接に援助を與ふる利益は頗る多大なるへく、是に反して列國の同情を失ひたる者は殆と列國を敵として戰ふ者なれは失敗の數自ら明なり、故に談判の際列國の同情を得たる者は如何なる無理をも貫徹するを得へく、同情を失ひたる者は如何なる無理をも恐はさる可らさる窮地に陷らさる可らす。

▲夫然り然るに小村男は此明白なる機略を解する能はす列國輿論の代表者たる新聞記者を疎外し、始には大抵我に同情を寄せたる記者とを驅て露國に傾かしめタイムスの通信員さへも後には不快の感情を我に抱かしむるに至りたる彼の愚劣沙汰の限りと云はさる可らす、是畢竟彼か永く外務省籠城主義に養成せられ輿論の主義を輕視するに至りたる弊なり、我邦に於ては此籠城主義も强き反抗を招かすして濟みたれ米國の如き輿論の勢力强大なる地に至り、歐米の各新聞記者か兩國使臣の言動を注視する時に當り輿論を度外視して其功を収めんとす、其失敗は當然の事なり。彼れ小村たるもの何すれそ當時各新聞記者か我に同情を有したるを利用し、談笑の間に益々是を我に傾注せしめ、而して露國使臣と折衝するに當り、若し彼れにして我要求を聽かさる時は、露は獨り日本の敵のみならす列國共同の敵たるへしとの擬勢を示し、彼をして我要求に屈服するの己むを得さるに至らしめさりしや、是畢竟彼か國家の大事を處理すへき器度足らさると、世界の大勢を指呼の間に制すへき機略なかりしか爲なり。

▲彼は今やポーツマス條約の關係條件を議定せん爲淸國に使して其全權委員と會見商議しつゝあり、會議の内容は秘密にして窺知する能はされとも、新聞紙の傳ふる所によれは、淸國委員鐵道敷設權に對し異議を唱ふるか爲我要求の幾分を放棄せさる可らさる模樣なりと、事の信僞は分明ならされとも、此會議に於て我要求の全部を貫徹するの困難なるへきは想像するに難からす、凡そ人は其實質の如何に係はらす、他に輕視せらるゝと重視せらるゝとは事を成すに難易の差別を生するものなり、小村かポーツマスに於ける失敗は淸國政治家をして必す輕蔑の念を起さしめたるや知るへし、小村の技倆假令淸國委員の上に在るとも、一たひ蔑視せられたる彼の議論は必す淸國委員に敬聽されさるへく、其熱心なる主張も動もすれは彼に飜弄せらるゝことなしとせす、彼はポーツマスの失敗を北京に於て回復せんとの希望あるへきも、其希望は反對の結果を生し、失敗に重ぬるに失敗を以てするやも知る可らす。

▲彼は此失敗の爲に其向途は甚暗黑となれりと雖も彼亦一個の才物なり更に大に奮勵し其運命を開拓せは功名を他日に期するを得ん、然れとも彼や蒲柳の質なり、長壽は命數の許さゝる所ならん、幸ひに自愛せよ。

●笑話四則

▲牧師の機智　米國の一基督教牧師好んで庭園に花卉を栽培し之を眺むるを以て樂みと爲し居たりしに隣家の農家にては多數の鷄を飼ひ屢々墻を破りて牧師の庭園に侵入し花卉を傷くる故牧師は再三隣農に墻を修覆すへきを說けとも隣農之に耳をも藉さゝりければ牧師は此に一計を案し數箇の鷄卵を贈りて是れ貴下の鷄群庭園に放産したるものなりと言ひ送りたるに隣農は其夜直に墻を修覆して翌日より鷄群の牧師の庭園に來るものなかりしと云ふ

▲眞實の白狀　下婢一日料理中不注意にして犢肉五斤を燒き損したれは主婦の咎めを免れんとて猫に生肉を食はれたりと訴へけれは主婦は善し直に實驗せんとて庖厨に往き猫の体量を秤りたるに恰度五斤ありける故主婦曰くマリヤよ！よ妾は此体量か犢肉の五斤ならんと思ふ猫は何處に往きしそと下婢深く考ふることなく答へて曰く猫は恐れて逃けました

▲お人違ひ　或る氣取り好きの紳士一日宴會に招かれ廊下にて頻に姿勢を正さんとして氣取り居たるに一婦人背後より來り俄に兩手にて紳士の目を塞ぎ頻に接吻したれは紳士はチト御無禮の擧動に候はすやと詰りたるに婦人は紳士の顏を見て御免遊はせ良人と知りたらんには斯樣な事を爲さゝしならんに……

▲死の選び方　重罪囚將に死刑に處せられんとするに當り典獄より國王の特別の恩惠を以て汝に自ら死の方法を選はしむと宣告せしに囚徒曰く斬首、絞刑、射殺皆余の好まさる所なり故に余は老衰して死せんことを欲す

春七句　野梅

元日や老たる人の美しき
とゝ豆の越後戀しき雜煮哉
　さる娘のいひけるは
男はし白粉もぬる羽子の友
飼鶴や正月したる顏もせす
彈初やひき直しせすそつと置
養父入や同し話を聞いて居る
橙ともせはうら梅勝に見ゆる哉

廣告

特別室落成披露
座敷は凡て日本式取扱至極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候
金城ホテル旅館部

藝妓仲居　新來披露
今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名件れ參り候間不相變御引立の程奉願上候
但し凡て純粹の江戸つ子
金城館料理部

藝妓仲居　新來御披露
此度新たに内地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々
營口　高砂ホテル
高砂
（電話一四五）

御旅館兼待合所
並に　うどん、そば
今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前
若松家
各位樣

料理　御燒
喜樂亭
營口元神廟街
亭主　元權[illegible]

稲正宗
▲稲正宗ハ灘御影町河東本家ノ釀造ナリ
▲稲正宗ハ營口盛進商行ノ特約酒ナリ

▲京印醬油
▲木材
白毛布　毛蒲團
旅行鞄　帽子類
筆墨紙　罐詰類
酒保品一切
盛進商行

雜貨卸商
在營口元神廟街
關東公司雜貨部

雜貨
醬油　味噌　清酒
營口西北街
阪神組

和洋會席御料理
一　弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二　奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町
日本館本店
（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町
日本館支店
各位樣

御旅館
天津
駐屯軍御用
並西洋料理
芙蓉館
（電話[illegible]十一番）

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔
接待優遇懇切
開放仝時＝開業
奉天小西門外大街路北

●大連東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前通り兒玉町に在り
●大連東洋ホテル
四階建にして而も高地に建設しあるを以て大連港灣の山水及大連市街の光景は一望の下にあり
●大連東洋ホテル
和洋客室の設備あり内外貴賓の宿泊に適す
大連東洋ホテル

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎
（電話百七十八番）
西洋料理仕出し御需に應ず
即席和洋料理　東京樓支店
（電話四十四番）

北京
扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室清潔料理鮮新

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137　電話一三七

諸雑貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段ヶ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

満洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店へ御來店アリタシ

遼陽停車場前　池上出張店

奉天　池上出張店

謹賀新年

書籍、銘茶　賣薬、雑貨商　大坂屋

博文館營口代理店

今般永世街通平野町筋へ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候

本家　日本東京神田鍛冶町　堀内大薬房

肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかせ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

あさだ飴　浅田飴

特約大販賣　營口永世街　東瀛大薬房

發賣　標子　木板　料木

營口青堆子　清水寧木局

澤鶴は醇良にして風味高尚なり

札幌ビール　朝日ビール　並ニ　政府專賣口付紙卷莨　朝日　大和

酢　醤油　瓶詰樽詰

菓子　罐詰　色々

洋酒類　取次販賣

醸造發賣元　宅合名會社

大阪府堺市九間町　本店

北海道小樽湊町　小樽支店

臺灣臺北街書院　臺北支店

臺灣基隆街石牌　基隆支店

臺灣臺南街下南河　臺南支店

北海道函館區辨天町　函館出張店

清國遼陽城内西街　遼陽出張店

清國大連監部　大連出張店

清國牛荘港東營口　營口支店

工

營口元神廟前　飯塚工程局材料部　（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

福

大連揚汽車便　最新着

●清酒白鶴

●北海道産玉葱

其他雑貨色々

元神廟街　㊌田中洋行

官製口付莨、文房具　和洋酒類　罐詰、菓子　藥品、雑貨　醤油瓶樽詰　防寒具、安價販賣

卸商

營口西北街　㊉豊生洋行　（電話十三番）

大日本帝國醫科大學模範藥局御用

攝津灘石崎合資會社醸造

醇良清酒　澤之鶴

満洲特約大販賣

㊞周　清國營口西北街　裕和盛號支店　電話八十一番

裕和盛販賣品目

○酒保用品雑貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

裕和盛本支店所在地

○本日本長崎梅香崎
○支店清國、芝罘、旅順、鐵嶺、
○支店韓國京城、仁川、木浦、

裕和盛は清商中日本通の張本

澤之鶴は既に定評ある天美祿

御旅館

奉天　小西邊門内路北　茂林館

日本物品依托賣買幷ニ滿洲各産物毛皮類ノ求ニ應ズ

追テ　家屋宏壯接待優遇

御徳用品　新荷着急告

○食料罐詰○
○塩魚干魚鰹節○
○乾物色々○
○亀甲万印醤油○
○赤白味噌○
○菓子類数種○
○銘茶各種○

林屋洋行

營口永世街警務課前南へ入

弊店儀雑貨專業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の卸小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候　敬具

營口南永世街百廿七號　㊀森屋洋行

大連大山通り二丁目　仝支店

遼陽西門外　代理店　林洋行

奉天小西門外　代理店　米田洋行

宮門抄

十三日
吏部　翰林院　正黃旗値日　吏部引　見二十六名　正藍滿四十八名　兩翼一名　陸潤庠等謝授缺　恩　前張家口監督嵩連到京請安　意公續假十日　掌儀司奏十五日祭
奉先殿　濤貝勒行禮
召見軍機　貴福
十四日
戶部　宗人府　正白旗値日　侍衛處引　見一名　正紅滿十二名　廂藍滿六十六名　那桐謝授大學士　恩　榮慶謝授協辦大學士　恩　張百熙謝兼管順天府尹事務　恩　浙江道衛吉謝　恩　恩　陸寶忠謝仍在南書房行走　恩　張仁黼謝授兵部右侍郎　恩　胡嬌棻因伊子加獎謝　恩　陳璧前往　西陵請　訓　奎順請假五日　侍衛處奏派主宴之王大臣
派出　莊王
召見軍機　衛吉

上諭恭錄

十三日奉
上諭那桐著授爲大學士榮慶著以學部尙書協辦大學士欽此
上諭兵部右侍郎著張仁黼補授欽此
上諭張百熙著兼管順天府府尹事務欽此
上諭陸寶忠著仍在南書房行走欽此
上諭湖南長沙府知府員缺緊要着該撫於通省知府內揀員調補所遺員缺著張元奇補授欽此
上諭本年京師入冬以來雨雪稀少前已虔申祈禱尙未渥沛祥霙允宜再申籲禱朕於本月十六日親詣　大高殿拈香　時應宮仍派溥偉　昭顯廟仍派載洵　宣仁廟仍派載濤　凝和廟仍派溥倫同於是日分詣拈香欽此
十四日奉
上諭都察院左副都御史着張亨嘉補授欽此
上諭大學士那桐　着仍充外務部會辦大臣欽此

論說

論東省宜多設習藝所

居今日而能別出心裁。驚世駭俗者。其惟西人乎。其或不皆創自西人乎。地之廣也。接以電線。而脈絡息息其相通。之高也。測以儀器。而星辰歷歷其可數。火車興而陸行無險阻。輪船設。而水運無風濤。凡諸製作。靡不巧奪天工。空前絕後矣。雖然。天地運行。不分中外。人心工拙。豈判東西。而今獨讓西人爲最者。特由習尙不同。雖有異術奇能。無人從而推許之。獎厲之耳。自洪荒以至中天變狉獉之俗。爲文物之邦。其先於西人。不知幾何歲月矣。人之生也。無爪牙以爭食。無羽毛以禦身。有聖人出。爲之謀食。爲之謀衣。爲之謀宮室。害生而爲之備。患至而爲之除。其創造之精。一如今之西人。愈造愈精。且更先於西人。西人之制。安見其非步我後塵乎。輪船之行海　西人倡之。然宋時楊幺據洞庭湖。出沒爲寇。所恃者巨艦。其制於船旁置輪。激水使行。其捷如飛。後岳武穆以草膠其輪。始破。是輪船之先於泰西也。銅漏之制。用機括而使之自鳴。至時則木人持牌以告。唐時猶詳其制。不猶今之鐘表乎。武侯木牛流馬之制。已開機器之先。地雷火砲之興。實爲火器之祖。西人制作。其胎息於中國者。正多不可以更僕數也。顧泰西之學尙實際。得一法而實究之。其藝自以專而益精。中國之學尙空談。薄其技而漠視之。其後遂相形而見絀。工藝不講。坐視此商戰最劇極烈之塲。以莫大之利源。听外人予取予求。而莫敢瑕疵也。有工而不能精。有利而不能創。有富而不能興。何莫非未嘗習藝之咎乎。近來風氣開通。人思自奮。如北京天津各工藝局。皆煥然一新。著有成效。然關以內雖有之。而關外仍寥寥也。省會中雖有之。而鄉鎭仍寥寥也。夫待自圓之木以爲車。尋自直之竿以爲箭。則百世無車矣。千載無矢矣。是故土積則生豫章之木。水積則生吞舟之魚。藝積而制器尙象。有不智巧日出。工作日良者。未之有也。東三省面積三十九萬方英里。人民七百萬有奇。但以僻處偏隅。朝廷聲教所被。容有鞭長莫及之處。加以庚子以來。屢經兵燹。始蹂躪於拳匪。繼敗壞於殘俄。刻雖戰局已平。元氣何能遽復。民智民習。錮蔽依然。當此商埠日開。外人之來者。絡繹不絕。列肆受廛。比比皆是。其製造品物。日出不窮。而我竟不但一無表見。且未能依樣葫蘆。略分權利。惟是每到一貨。爭相購買。徒羨人之巧。而不一攷其法之何從。一若他人之巧。決非我華人所能步武者。且不獨視外人爲然也。即以本國而論。津滬發達較早。工藝亦較優。每見由津滬運來各貨。則羣駭以爲奇。而絕不思仿效其法。精心製造。以求抵制。豈果外人皆巧。而中國人獨拙。津滬人皆巧。而東省人獨拙乎。不知巧拙之故。非生之使然。在習與不習耳。誠於此時多設習藝所。朝夕講求。不遺餘力。由淺以入深。由粗以及精。雖開辦之初。良非易易。然收效於將來者。詎可以道里計哉。（未完）

東京電報

●在日本中國學生之鎭靜　日前在日本中國學生抵制該國文部省令同盟罷業刻下雖已有復校肄業者而其中尙有主持回國一派固執前議因之復校回國之兩派各選出委員十五名舉楊欽使爲議長討議可否而回國派遂皆屈服一律復校全歸鎭靜云（西一月十二日到）

中外要聞

●英大臣調停逐華工　英國工部大臣克拉特斯頓君在里特府演說日日下英屬南斐州旅居之華工約五萬人若今日盡數放逐此等華工則於斐州財政商務頗有窒礙故本大臣擬令華工改良習氣以與洋人相睦云

●出入貨欵總誌　據英國商部官報云西曆千九百零五年英國貨物入口全額五百六十五兆磅之譜較於一千九百零四年加增十四兆二億五萬磅之譜出口全額則三百三十兆磅之譜較於前年加增二十九兆二億三萬三千磅之譜

●論繪已築未築鐵路　瞿大軍機面奉　諭旨交傳外部將中國行省東省北邊蒙古等地所有應築鐵路繪畫五色線道第一係中國自築第二係中外合辦第三係紳商修築第四係當時商議欲築之路第五係將來必築之路繪畫裝潢懸掛上書房以備　皇上退朝後觀覽

●調各商埠圖說　昨聞商部電咨各省督撫迅將各該省已開未開商埠以及稅口洋關均繪圖貼說附送到部以便本部另繪全圖恭呈　御覽云

●福建人自辦鐵路　日前聞有福建通省京官光祿寺卿張亨嘉等在商部具稟奏請籌築鐵路呈稱閩省地僻民稠生路鬱積轉輸利便以發山澤之所藏以補耕作之不足近年以來奸商勾引外人動指數府礦地歸其專辦坐使利權日失夫礦與路本相輔而行欲杜盜礦之陰謀情願自行籌欵建築鐵路以保國家挽入利權呈請商部批准以便興修

●講求醫學　聞管理官醫院大臣陸潤庠議商所有京師城內外開辦四處其外西之醫局內房間已大加擴充業已工竣所設立醫學堂延聘中外敎員前擬招考學生不敷委用現擬再行招考粗通醫術之學生八名以期研究醫術精益求精

●咨催各省設法律學堂　政府日前咨催各省督撫即宜設法律學堂所有刑部新定法律現已頒行外省飭各督撫即將候補佐雜人員飭催入堂習練新律以期一律考試果有成效方准委用不得視爲具文毋再延宕云云

●警務學堂之政策　聞前撤練勇各局哨官均入警務學堂練習百日畢業擬定章程考試頭等者四名二等者十八名其考三等者咨降巡捕撥局當差俟明春卒業考試後咨送警部委用

●工部淸理公務　聞工部鹿大司空諭飭節愼銀庫監督瑞齡由光緒二十九年查起本部奏請撥欵七萬兩解撥工部發給某堂督率幾件某司官承辦小案幾件按件核對木廠水印甘結按各欵銀數詳細開單呈閱以便覈對已發未發之欵云

●收先農壇地糧　例年冬至節令　皇上祀　天壇後援案派順天府大京兆赴　先農壇收取地糧所收一畝三分之糧昨聞李大京兆遣派委員鄭竣川赴　壇當差該委員昨已前往頃聞李尹憲復又傳車親身收取所有應差文武屬員均尙誤差聽候訊辦

●戶部整頓事務　聞戶部鐵尙書復行整頓捐納科房之照房稿房付子房諭飭該處司官四員查明冊案各省呈繳照根詳細按字編號彙總呈堂以備查核後另有堂諭示知云云

雜報

●買貨遇刦　昨有一蓋州客來營買貨身帶手票二百元至營南五里橋子忽遇棒子手二人將財物刦去幸人未傷云

●車夫失愼　昨日落時有一空大車在老爺廟前忽然驚跑至廟後將寶元霄者碰倒人幸勿傷其車如飛而去幸有苦工人在前手執木杖將車攔住寶元霄者在後赶至與車戶爭論多時衆人說合出洋二元以作賠償之費云

●剿匪得手　匪首張占元帶領俄國遣散之降隊千餘人在鄭家屯一帶盤踞騷擾等情已誌前報茲聞慶提調少峯馬管帶騰溪屢將該匪擊退勦辦頗稱得手故次帥特續派黃委員前往助勦以期迅速弭平

●擬委團總招募獵戶　雞頭峪在遼陽南端地險而僻團總徐君禎在該處巡守多年地方安謐居民咸倚爲保障日前因事晉省面謁次帥頗蒙嘉許當即奉派會同前遼陽州鮮華甫直刺現任何子彰直刺辦理遼海善後事宜並擬令徐君招募獵戶五千人歸其訓練以爲地方自治基礎聞不久即可見明文矣

NEWCHWANG, SATURDAY, JAN. 13, 1906.

THE HAND OF DIVINE PROVIDENCE (PART XXII).

The last and saddest chapter of Korean history during last 10 years ought to be the most valuable object lesson to China. who is feared to be following Korea's footsteps that had led the latter to the all but fatal Cossack trap before the Japan-Russia War and her ensuing rapid fall. The terrible God now points for China first of all others, a warning finger to the present Korea. Were China to fail to heed the stern warning, it would be only too soon all too late for her as it is now for Korea.

Would to Heaven that China, as a nation, first her statesmen at the helm of the State and in time all loyal subjects in the 18 Provinces, would open their eyes to the fatal folly, and taking heed of the ringing danger bell, turn back with a worthy resolve, to start on the road to their national salvation!

It is the same folly that has worked the fall of man. The forbidden fruit is always luscious. And the Tempter's whispers are ever so sweet to the ear. What sweet promises the gang of robbers must have poured into China's listening ear, in attempting to allure her into the 'Interference' conspiracy! Did the tempters ever so much as give the vaguest hint at their then real ultimate aim of the dismemberment of China—at the lease of Kwantung Peninsula and other territories, at the extortion of numerous railway, mining, and tradal concessions, at the Bragovestinsk Massacre, at the absorption of Manchuria with its Sacred Imperial Tombs, and also at the wholesale denationalization of the easily alienable Chinese?

Yesterday morning at 10, Lt.-Col. Yokura, as Commander of the Yingkow Commissariat District, held Buddhist services before epitaphs roughly made after the Buddhist fashion, to represent the Japanese killed and a cross framed after the Russian pattern to symbolize the Russian dead. who, as gallant foes in war, gave, up their noble life for the sake of their own dear country, at Niuchiatun, just a year before. The ceremony was of the simplest, well-nigh amounting to a strictly private affair. It is the Commander's desire to hold, at some future date a public one of international character, with elaborate preparations, in which the active participation of the Russian authorities are to be solicited.

Mr. V. Nikitine, Acting-Consul for Russia, accepted a courteous invitation from the Commander to be present on the occasion, to pay his homage to the memory of the loyal Russians. Mr. Okabe, Foreign Secretary, was specially detailed to wait upon the Russian Consul, on both ways from and to the town.

We sincerely share with the Commander a sentiment, foremost of many of allied nature, that were expressed in the commemorial address he read before the ceremonial altar, right after the ritual incantations by the officiating priests were over. He concluded his address with a wish that a communion similar to such as is believed to subsist between the spirits of the Russian and the Japanese dead, might be partaken of and steadily cultivated also by the living peoples of the two countries.

Our esteemed Tientsin contemporary the "Peking and Tientsin Times" has been absolutely misinformed in stating in its issue of the 10th. inst., that "Taotai Sun, Director of the Foreign Bureau at Mukden, recently came to Newchwang and called on the Japanese Consul and other officials here for the purpose of organizing a mixed court for local administration." We learn from the most reliable source that, in the first place, the Director has not given a visit to the port since Consul Segawa returned from Peking on the 28th. ult., and that the only Chinese dignitary that called at the Japanese Consulate during his 5 weeks' absence from the port before his return, was Mr. Liu, Magistrate of Kaichow. In the second place, a matter of such international importance as is the initiation of a mixed court has to be taken up at Peking directly between the government and the Representative Ministers. In the third place, such a question has never once been even touched upon between a Chinese official and any Japanese authorities here, since July 1904.

Dr. and Mrs. Young of Mukden who were down Tientsin way on a visit, left the port for their home last evening.

The river has frozen fast after all. The ice has bound strong enough, as it was last winter, first just below the "Manchuria House," opening sled traffic across since yesterday.

時刻

唐山至天津　上六、一二　上一一、二八
塘沽至北京　上六、〇一　下一、〇六
天津至北京　上一二、〇〇　下五、二〇
山海關至北京　上八、〇〇　下六、四五

天津至[illegible]　上一一、四〇　下五、一七
唐山至山海關　上六、二五　上一一、二一
天津至山海關　上六、〇〇　下一、五八
山海關至營口　上七、〇五　下四、五五
溝幫子至新民　上三、〇〇　下六、五七

大石橋　奉天　遼陽　上り列車
奉天着午前一一、〇〇
遼陽着午後一二、〇六
發七、二〇

大連旅順間時刻
驛名　大連　旅順
發午前七、三〇
着一〇、四九

營口上り列車
大石橋發午後十、二五
營口着翌前十二、二〇

豫報

昨日の氣溫
最高溫度十六度五
最低溫度六度八

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號
旅館　第二營口ホテル　河岸通り
料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主　粕屋忠兵衛
料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎
旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉
料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎
旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程
旅館　千代田旅館　永世街甲八十七號　店主　高橋きみ
料理　沖の島　永世街十八號　店主　中川彌三郎
料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好
旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）店主　麻田久二
旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主片山小みつ（電話一四五番）
南洲旅館　御用達商　濱田新之助　南永世街拾九號
旅館　彌生館　永世街百六十七號
料理　やよひ　永世街百六十七號　店主　宮下只七郎
料理　滿月　平野町百八十二號（電話一六二）店主　青木勝惠
料理　滿洲樓　西北街二百五十二號　店主　直塚勝二
料理　萬梅　豊濱門街第百〇四號　店主　田島彌助
御料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　元吉田屋跡　店主　和田常松

料理　松酒家　元神廟街　矢野洋行向ひ　店主　山本壽三郎
料理　醉花園
旅館　滋谷旅館　永世街百二十七號　店主　滋田留吉
旅館　大和館　永世街六號
料理　第二大和館　永世街百六十六號　店主　前田九一郎
料理　曙館　永世街平野町　營口座向
旅館　金城ホテル　永世街百六十六號
料理　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　齋藤富次郎
旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎
營口軍政署　御用旅館　東雲　主任　谷口今朝太郎
さるそば　第一更科　營口元神廟街
さるそば　第二更科　永世街鶴の湯角
琴三味線處　并に張替附屬品一切　永世街八十五號二本町角　土生香樂堂
和洋御料理　東京一流　かき飯　第二東京館　元神廟街　店主　松田平四郎

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　井上源吉
御料理會席　菊水館　主任　朝枝團搥
旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉
旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基
御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　凱旋亭　色々應御注文　主任　古谷庄太郎
旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉
遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎
御料理會席　玉家　主任　西野治三郎
御料理會席　來々亭　主任　石田清

營口永世街　營口印字局

弊店儀開業以來御華客様の御愛顧御引立に預り千萬奉謝候偖て今度遼陽に支店を設け旅館會席御料理相營み可申候間本店同樣御負最御引立の程偏に御願ひ申上候先は御禮旁〻御披露迄早々

營口元神廟街第百四十三号　和洋料理　松月亭
遼陽城内西街百十七号　旅館　和洋料理會席　滿洲ホテル
御客様各位

正札　特別廉價　雜貨　賣出し
一婦人髮道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一鑵詰及履物
一小間物一切
一賣藥色々
質屋　永世街森病院隣　和滿洋行　志田ます

喜久洋行
●白米　●糯白米　●石炭　●木炭　●干魚　●鹽魚　●建築用材木　●洋釘　●亞鉛板
營口永世街八十號　喜久洋行（電話百五十二番）
御小賣致候間御用の節は電話又は端書にて御通知次第直に持參可仕候也

酒保品諸雜貨御商　神崎洋行
營口永世街甲百廿七號警務課前
▲其ノ外新荷着種々安價大勉强▼

倉庫業
倉庫位置　營口綏定門街（公和客）院内
郵船會社碼頭ヨリ西二丁余　商船會社碼頭筋向イ　河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸揚ゲ便最適當ナル位置
新玉號倉庫部（電話一五七號）

東洋醫院　竹村旅館ノ側ヨリ河岸ニ通ズル横町ノ中央角（永世街十八号）　午前宅診午后往診入院隨時　山田長

加藤洋行

酒保諸君急告

弊店儀今回酒保品全部相片付け度特別大見切賣致す可く候に付至急御來店の上御相談被下度願上候也

●麒麟正宗
●諸罐詰類
●卷紙、狀袋
●菓子、砂糖

其他諸雜貨一切取揃へ誠實を旨とし精々勉强仕る可く候間多少に拘らす御用命被下度奉願上候

銘酒　菊正宗新着!!　營口明年定價にて差上ます
祝新年雜貨商　加藤洋行（電話八十口）
本店　天津日租界
支店　營口　北京
出張所　遼陽　大阪

S.KATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin,
General Store-keeper & Commission merchant.

爲替相場（一月十二日）

日本向　軍票百圓に付金九十五圓五十錢
上海向は百圓に付六十七兩二錢五分
天津向は百圓に付一百〇八五圓五十錢
芝罘は天津と同直段

日本品最近物價表　加藤洋行調査

菊正宗　三斗九升入　銀二十圓
麒麟正宗　四斗四升入　同十七圓
菊正宗　瓶詰四打　同十五圓
全　四打　同十一圓
鮨ラッキョ　四打入　同十三圓
辛子漬　五打　同十四圓五十錢
フキ　全　四打　同九圓五十錢
菜　全　同十四圓
鷲ミルク　全　同十八圓
石炭（飯塚工程局）
一上等塊炭　一噸ニ付　銀十八圓
一全　切込　全　全　十七圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙
廣告　二十七字詰一行一回　銀二十仙